

令和5年度 大阪桐蔭中学校・高等学校 学校評価

1. めざす学校像

- ・建学の精神「偉大なる平凡人たれ」と、桐蔭の教育方針「鼎立なりて碩量を育む」のもと、徳知体教育の充実を図ります。
- ・生徒一人一人が希望する進路、目標、自己実現を達成できる学校となります。
- ・高校3ヵ年それぞれのコースに応じた教育カリキュラム、また、設置するⅠ類・Ⅱ類・Ⅲ類のコース教育の特性を一層伸長させます。
- ・大阪桐蔭として日本を代表する中等教育機関としての地位を確立します。

2. 中期的目標

1. 建学の精神・教育方針に基づく教育の実践

- (1) Ⅰ類・Ⅱ類の難関国公立大学進学実績をさらに伸ばすために、常にカリキュラム、授業内容を見直し、教学面の充実を図る。「学習指導要領」の改訂に伴って再編したカリキュラムを検証する。
- (2) 配慮を要する生徒への支援体制の強化に取り組む。
- (3) 教員の指導力の向上に取り組む。
- (4) Ⅲ類クラブの全国レベルでの活躍をバックアップする体制を整える。また、その活躍を継続させるためにも、指導者の後継者育成を進める。
- (5) 生徒のマナーの向上と挨拶の励行を促す。
- (6) 学校行事の実施時期、内容の検証をし、充実を図る。

2. 大阪産業大学および附属高校との連携

- (1) 大阪産業大学とのスポーツクラブの交流を図る。
- (2) 「特別推薦入試制度」を充実させ、大阪産業大学との進学に関わる連携を強化する。
- (3) 大阪産業大学の入学試験の検証に関わる。
- (4) 定期戦の実施も視野に入れ、附属高校とのスポーツクラブの交流を図る。

3. 地域との連携

- (1) 地元(大東市・四条畷市)から応援される学校を目指し、地元地域のイベントへの生徒の積極的な参加を促す。
- (2) 組織のレベルで地元地域との連携を図り、地元地域に貢献する一方で、地元地域からの積極的な教育支援を受けることのできる開かれた学校を目指す。
- (3) 災害等の非常時に地域への支援・協力を実行できる体制を構築する。

4. キャンパス整備

- (1) 東館の撤退と本館集約に向けて「キャンパス整備計画」を策定する。
- (2) スポーツクラブの練習場を整備し、校外グラウンドを確保する。
- (3) 校内グラウンドの拡張、寮の新設について検討を進める。
- (4) 老朽化に伴う建物の傷みの点検と修繕を行う。
- (5) ICT教育を進めるための環境を整備する。
- (6) 法人のサポートのもと、全教員へのPCの貸与を検討する。
- (7) 電気機械・器具の最新化により、エコスクール化を進める。

5. 卒業生および保護者との連携の強化

- (1) 桐友会、桐友会OB会、同窓会の3つの外郭団体との連携を強める。また、学校が団体間の連携を強めるための役割を果たす。
- (2) 各会からの支援について、より有効なものにする。
- (3) 必要に応じて、各会の規約を見直す。
- (4) 保護者とのコミュニケーションのツールとして、HPやミマモルメを活用する。

6. 大阪桐蔭ブランド力の強化

- (1) 学則定員、募集定員について、常に見直しを図る。
- (2) より効果的な広報活動の方法を探る。
- (3) 広報・渉外部の充実を図る。
- (4) Ⅰ類・Ⅱ類の進学実績(特に国公立難関大学・国公立医学系大学への合格)を向上させ、在籍生徒・保護者の満足度を高めるとともに、受験生へのアピールを強める。
- (5) 優秀な教員の確保に努める。
- (6) Ⅲ類クラブの全国レベルでの活躍をバックアップし、全国優勝を目指す。
そのことで、在籍生徒・保護者の満足度を高めるとともに、知名度を高める。

7. コンプライアンスへの取り組み

- (1) 各種規定を整備・周知し、コンプライアンスの徹底を図る。
- (2) 「学校法人大阪産業大学情報管理基本規定」に基づき、法人のサポートのもと情報管理体制を構築する。
- (3) 人権教育、ハラスメント教育、体罰、いじめ等に関する研修を実施する。

3. 学校関係者評価委員会からの意見

評価アンケートの結果と分析（令和5年3月実施 主な項目を抜粋）	学校関係者評価委員会からの意見
<p>■ 授業に関して</p> <p>○ 授業の進度について</p> <p>R5 適正である（中 80% 高 82%）、遅くしてほしい（中 14% 高 10%） R4 適正である（中 81% 高 80%）、遅くしてほしい（中 14% 高 11%） R3 適正である（中 78% 高 80%）、遅くしてほしい（中 16% 高 10%） R2 適正である（中 76% 高 76%）、遅くしてほしい（中 16% 高 13%） R1 適正である（中 73% 高 72%）、遅くしてほしい（中 17% 高 16%）</p> <p>○ 授業の内容について</p> <p>R5 非常にわかりやすい・わかりやすい（中 90% 高 88%） R4 非常にわかりやすい・わかりやすい（中 90% 高 87%） R3 非常にわかりやすい・わかりやすい（中 90% 高 88%） R2 非常にわかりやすい・わかりやすい（中 90% 高 85%） R1 非常にわかりやすい・わかりやすい（中 86% 高 81%）</p> <p>○ 授業に対して満足しているか</p> <p>R5 非常に満足・満足（中 92% 高 90%） R4 非常に満足・満足（中 92% 高 88%） R3 非常に満足・満足（中 91% 高 90%） R2 非常に満足・満足（中 90% 高 87%） R1 非常に満足・満足（中 87% 高 85%）</p> <p>○ 宿題の量について</p> <p>R5 適正である（中 75% 高 80%）、多すぎる（中 13% 高 10%） R4 適正である（中 75% 高 76%）、多すぎる（中 12% 高 12%） R3 適正である（中 72% 高 76%）、多すぎる（中 15% 高 9%） R2 適正である（中 68% 高 74%）、多すぎる（中 15% 高 10%） R1 適正である（中 64% 高 69%）、多すぎる（中 17% 高 13%）</p> <p>【授業に関する評価はいずれの項目もポイントが上昇もしくは昨年と同程度となっている。90%近くの生徒は授業内容が分かり易く、非常に満足または満足と答えており、質の高い教育ができているものと評価できる。また、授業の進度、宿題の量についても適正であるとの評価が年々高くなっており、授業での工夫が見て取れる。その一方で、授業が早すぎる、宿題の量が多すぎると感じている生徒も一定数いることにも十分留意すべきであり、個別指導などの対応も引き続き必要である。】</p> <p>■ 教員に関して</p> <p>○ 教員は熱心に授業を行っているか</p> <p>R5 肯定的評価（中 95% 高 95%） R4 肯定的評価（中 96% 高 95%） R3 肯定的評価（中 95% 高 96%） R2 肯定的評価（中 95% 高 94%） R1 肯定的評価（中 93% 高 93%）</p> <p>○ 教員は、質問をしやすいですか（聞いてくれる）</p> <p>R5 肯定的評価（中 90% 高 86%） R4 肯定的評価（中 94% 高 95%） R3 肯定的評価（中 95% 高 94%） R2 肯定的評価（中 95% 高 91%） R1 肯定的評価（中 91% 高 89%）</p> <p>○ 教員は、あなたの悩みを聞いてくれますか</p> <p>R5 肯定的評価（中 86% 高 84%） R4 肯定的評価（中 90% 高 90%） R3 肯定的評価（中 89% 高 88%） R2 肯定的評価（中 87% 高 86%） R1 肯定的評価（中 84% 高 84%）</p> <p>○ 教員は、あなたに問題が起こったときにしっかり対応してくれますか</p> <p>R5 肯定的評価（中 97% 高 87%）</p>	<p>■ 授業に関して</p> <p>・授業の進展については、数年前から徐々に「遅くしてほしい」という意見を減らしていますが、具体的数値を目標にしていけばよいと思います。例えば中学生は 10%を目標に。高校生は 8%を目標にしては如何か。</p> <p>・具体的数値を目標にすることでどうすべきか個々の先生方に授業の仕方、方針を明確にしましょう。</p> <p>・授業の進度について、遅くしてほしいとの意見があるようですが、毎年徐々に減少していることから、学校が継続して取り組んでいただいている結果であると思います。遅くしてほしいと考えている生徒については個別にフォローいただければ良いのではないかと考えます。</p> <p>・授業の内容と満足については、ほぼ比例していると思うので、各先生方が創意工夫して授業に臨んでいると思われれます。</p> <p>・授業内容について、中高ともに約9割の生徒が満足していることから、先生方が努力してくださっていることが反映されたものであり、授業内容の充実が生徒の満足感につながっており、保護者として嬉しく思います。</p> <p>・宿題の量については、年々適正であるという傾向にあるので先生の宿題を出す量もさることながら学力によるクラス分けなども含めて良い方向に向かっているものだと考えられます</p> <p>・宿題の量について、一定数の生徒は多すぎると考えているようですが、保護者としては宿題をこなすことによって学習の定着をはかる機会となっていると考えますので、生徒の様子などを見ながら柔軟に対応いただければと思います。</p> <p>■ 教員に関して</p> <p>・「質問のしやすさ」、「悩みを聞いてくれる」のポイントが落ちているので、今年、大きな教師の配置転換などあったのか、また、生徒と向き合う時間を割くようないわゆる雑用が増えたのかなど、検証が必要である。</p> <p>・全般的に、肯定的評価が高く、先生方が普段から熱心に生徒と向き合っている結果だと思います。</p> <p>・質問のしやすさやについて、R1から上昇していましたがR5が前年度のR4に比べ大幅に減少していることが気になります。</p> <p>・生徒との対話、時には友達感覚でのフレンドリーな対応を望まれる。</p> <p>・悩みを聞いてくれるかとの設問について、他の設問に比べポイントが低めである状況がR1からほぼ横ばいとなっています。毎年どのような計画をされ、結果に対して改善されているのか気になります。</p> <p>・問題が起こった時にしっかり対応してくれますかの問いに、R1～R4のポイントは中高ともに9割以上の肯定的評価でした</p>

- R4 肯定的評価 (中 95% 高 95%)
- R3 肯定的評価 (中 96% 高 96%)
- R2 肯定的評価 (中 96% 高 95%)
- R1 肯定的評価 (中 94% 高 93%)

【授業に関する評価と同様に教員に対する評価も高くはなっているが、昨年度と比較して質問のしやすさ、生徒の悩み・問題への対応の評価ポイントが低下しており、あらためて教員の生徒に寄り添う姿勢が求められる。】

■ 学習への取り組みに関して

○ あなたは、授業をしっかりと聞いていますか

- R5 肯定的評価 (中 93% 高 94%)、否定的評価 (中 7% 高 6%)
- R4 肯定的評価 (中 92% 高 93%)、否定的評価 (中 8% 高 7%)
- R3 肯定的評価 (中 93% 高 94%)、否定的評価 (中 7% 高 6%)
- R2 肯定的評価 (中 93% 高 93%)、否定的評価 (中 7% 高 7%)
- R1 肯定的評価 (中 91% 高 91%)、否定的評価 (中 9% 高 9%)

○ あなたは、授業の予習・復習をきちんとしていますか

- R5 肯定的評価 (中 50% 高 55%)、否定的評価 (中 50% 高 45%)
- R4 肯定的評価 (中 48% 高 58%)、否定的評価 (中 52% 高 42%)
- R3 肯定的評価 (中 48% 高 58%)、否定的評価 (中 52% 高 42%)
- R2 肯定的評価 (中 48% 高 46%)、否定的評価 (中 52% 高 54%)
- R1 肯定的評価 (中 47% 高 38%)、否定的評価 (中 53% 高 62%)

○ あなたは、宿題や課題にきちんと取り組んでいますか

- R5 肯定的評価 (中 79% 高 87%)、否定的評価 (中 21% 高 13%)
- R4 肯定的評価 (中 82% 高 86%)、否定的評価 (中 18% 高 14%)
- R3 肯定的評価 (中 84% 高 86%)、否定的評価 (中 16% 高 14%)
- R2 肯定的評価 (中 81% 高 84%)、否定的評価 (中 19% 高 16%)
- R1 肯定的評価 (中 77% 高 79%)、否定的評価 (中 23% 高 21%)

○ あなたは、早朝テスト・終礼テストに真剣に取り組んでいますか

- R5 肯定的評価 (中 91% 高 85%)
- R4 肯定的評価 (中 90% 高 87%)
- R3 肯定的評価 (中 86% 高 88%)
- R2 肯定的評価 (中 86% 高 82%)
- R1 肯定的評価 (中 87% 高 87%)

○ あなたは、模試を真剣に受験していますか

- R5 肯定的評価 (中 91% 高 91%)
- R4 肯定的評価 (中 91% 高 92%)
- R3 肯定的評価 (中 90% 高 91%)
- R2 肯定的評価 (中 90% 高 87%)
- R1 肯定的評価 (中 91% 高 89%)

【授業、早朝・終礼テスト、模試への取り組みは非常にポイントが高く、勉強意欲の高さがよくわかる結果となっている。模試については、引き続き受験させる試験のレベルが適切かどうかを十分検討の上、模試を通じて実力をつけさせていくことが重要である。

宿題・課題への取り組みは中高とも年々ポイントが上昇していたが、令和4年度に続き中学校で若干下がったので、原因の究明と早めの対策が必要である。一方、予習・復習への取り組みは高校においてポイントが低下し、中学は肯定的評価がまだ50%であり改善の余地が大きい。課題などが多く十分時間がとれない可能性があるが、習慣づけのための働きかけが今後も必要である。】

■ 学校行事に関して

○ あなたは、学校行事に真剣に取り組みましたか

- R5 肯定的評価 (中 95% 高 95%)
- R4 肯定的評価 (中 93% 高 90%)
- R3 肯定的評価 (中 92% 高 88%)

が、R5の高校の評価が下がっている原因が気になります。

■ 学習への取り組みに関して

・予習復習の件、予習復習の大切さを知っていながら、否定的意見なのか、全否定しているのか深掘りすれば改善の余地がありそうである。

・学習への取り組みについて、多くの生徒が授業をしっかりと聞いている、早朝テスト・終礼テスト、模試に真剣に取り組んでいると回答していることは、生徒それぞれが自立して勉学に励んでいる姿勢をあらわしている結果であり、大阪桐蔭の生徒の意識の高さ感じました。それを導いて下さっている先生方に感謝します。

・授業の予習・復習について、他の設問に比べポイントが半数前後である状況が5年間続いていることが気になります。これは、予習・復習に時間を割かなくても授業内容を十分に把握できることでしょうか。

・宿題や課題にきちんと取り組まない理由が気になります。

■ 学校行事に関して

・今年には大幅に肯定的意見が多くなってきている。
 ・文化祭の屋台などで、勉強以外のお金に関する事経済に関する事「経営」「投資」「利益の出し方」を積極的に教えていただ

- R2 肯定的評価 (中 89% 高 89%)
- R1 肯定的評価 (中 91% 高 92%)
- あなたは、学校行事には満足していますか
- R5 肯定的評価 (中 88% 高 74%)
- R4 肯定的評価 (中 75% 高 56%)
- R3 肯定的評価 (中 62% 高 42%)
- R2 肯定的評価 (中 70% 高 62%)
- R1 肯定的評価 (中 83% 高 79%)

【令和5年度は概ねすべての行事を予定どおり実施することができ、満足度が上がった。また、学校行事に真剣に取り組む生徒の割合も増え、何に対しても一生懸命頑張るのが本校生徒の特徴であり、充実した学校生活が送れるように、できる限り行事を実施するよう努めるとともに、より充実した内容に見直していくことが重要である。】

■ 学校生活に関して

- あなたは、学校生活を楽しく感じますか
- R5 肯定的評価 (中 88% 高 83%)
- R4 肯定的評価 (中 87% 高 81%)
- R3 肯定的評価 (中 86% 高 78%)
- R2 肯定的評価 (中 87% 高 80%)
- R1 肯定的評価 (中 85% 高 82%)

【コロナ禍が解消され、令和5年度は満足度が高くなった。高校は大学受験を控えて緊張感の高まる時期であり、中学校に比べ評価が低くなるのは致しかたない面があるが、受験勉強のストレスなどを十分考慮した上での対応やケアが必要である。】

■ その他

- あなたは、校則をしっかり守っていますか
- R5 肯定的評価 (中 95% 高 97%)
- R4 肯定的評価 (中 96% 高 97%)
- R3 肯定的評価 (中 95% 高 97%)
- R2 肯定的評価 (中 97% 高 97%)
- R1 肯定的評価 (中 94% 高 94%)
- あなたは、挨拶をしっかりしていますか
- R5 毎回挨拶をする (中 51% 高 59%)
 - たまにする (中 44% 高 38%)、ほとんど・全くしない (中 4% 高 3%)
- R4 毎回挨拶をする (中 52% 高 55%)
 - たまにする (中 43% 高 42%)、ほとんど・全くしない (中 5% 高 3%)
- R3 毎回挨拶をする (中 50% 高 55%)
 - たまにする (中 44% 高 41%)、ほとんど・全くしない (中 6% 高 4%)
- R2 毎回挨拶をする (中 50% 高 60%)
 - たまにする (中 44% 高 37%)、ほとんど・全くしない (中 6% 高 3%)
- R1 毎回挨拶をする (中 47% 高 55%)
 - たまにする (中 48% 高 39%)、ほとんど・全くしない (中 5% 高 6%)

【校則に関してはよく順守されており、学校の規律がよく保たれていると評価できる。挨拶に関しては中学校において毎回挨拶をする生徒の割合が増えてきており、生徒による挨拶運動や指導の成果が出て来ているようである。しかし、高校においては毎回挨拶する生徒が減少しており、あわせて毎回挨拶する生徒が半数程度に留まっており、引き続きホームルームや集会等において根気強く指導を行っていかねばならない。また教職員から生徒に率先して声をかけ、挨拶を習慣づけることも必要である。】

ければ、身のある課外授業になるかと思う。また、行事への達成感が得られるような工夫をお願いいたします。

- ・コロナ禍があげ学校行事が元に戻り、勉強だけではない集団生活から学ぶこと、かけがえのない思い出作りができることはよかったです。また、生徒の満足度が増えたことは、先生方が環境づくりを懸命にいただいている結果だと思えます。あらためて感謝申し上げます。

■ 学校生活に関して

- ・来年はもっと充実した学校生活が送れると思えます。
- 学校生活、行事は社会に出てからの人脈構成やまとめ方に役立つので気分転換も含めて、学校名物ができるような行事、生活をしてほしい。
- ・年々、学校生活を楽しく感じている生徒が増えているようです。勉強だけでなく、友人達と行事やクラブ活動でも充実した生活を送っていることがわかり安心しました。

■ その他

- ・校則を守っているという評価がとても高いことは、日ごろからの先生方のご指導の賜物です。
- ・挨拶の頻度はやはり落ちていると思えます。学校に訪問した際に今年は顕著に感じた。「この人誰？」のまえに挨拶する習慣をつけましょう。社会に出ても役に立ちます。
- ・毎回挨拶をすると回答した生徒は半数程度ですが、学校を訪問した際には、出会う生徒のほぼ全員が挨拶してくれています。引き続き挨拶を習慣づけてほしいと思えます。
- ご指導いただく際に、挨拶を形式的にただすればよいということではなく、挨拶のもつ意味などについても伝えていただければと思います。

■ 総括

- ・全体的に前年度より高評価を得られています。先生方のご指導と努力があったと思えます。
- ・全体的に前年度より高評価を得られています。これも先生方の日頃の熱心なご指導と様々な工夫をいただいている結果だと思えます。生徒たちが学び成長する素晴らしい環境をつくってくださっていることに深く感謝申し上げます。

本年度の取組内容及び自己評価に関する意見

・公立の小学校、中学校から人気の出る学校になってほしい。大学付属の高校がやはり根強く人気がある。現在の大学入試方法も色々あるので、それに特化する。また、大学入試も色々あることを中学生に知ってもらい、人気のある高校になっていただきたいです。不人気の地区もあるようで、どこの校区でも人気のある高校になってほしいです。

4. 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価 ※【 】内は達成状況及び今後の課題
1 建学の精神・教育方針に基づく教育の実践	(1) I類・II類の難関国公立大学進学実績をさらに伸ばすために、常にカリキュラム、授業内容を見直し、教育学面の充実を図る。「学習指導要領」の改訂に伴って再編したカリキュラムを検証する。	① 「学習指導要領」の改訂に伴って再編をした高校のカリキュラムについて、教員の認識を深め、効率的な授業を展開する。	新学習指導要領への対応状況	① 教務部・教科・学年で会議を開き、再編をしたカリキュラムの徹底と、新カリキュラムに沿った効率的な授業について検討し、実践した。 【新学習指導要領の観点別評価に関して、教科担当者の理解を深め更なる効率的な授業の促進が必要である。】
		② 一貫生については、中高一貫教育の特性を活かし6年をかけて学力の伸長を目指す。高入生については、「エクシードクラス」を牽引役として学力の伸長を目指す。また、「エクシードクラス」の初めての進学実績を充実させる。	学習意欲・学力の伸張度	② エクシードクラスができて3年目となり、高入生の中にも高い目標を持った生徒が増えました。今年は高校2年エクシードクラス独自の学習合宿を行うなど、教員の指導意欲も高まるとともに、他のクラスへの波及効果もありました。また、エクシードクラス初の卒業生33名のうち、19名の生徒が難関国公立大学に合格した。 【更なる進学実績の向上を目指し、高い目標を持った生徒が増えることによる他のクラスへの波及効果が期待する。】
		③ 中学を含めた全学年対象の学習合宿・高校3年生対象の受験対策合宿など学習に関する行事について、より効果的な実施時期・内容を検討する。	学習合宿等の実施状況	③ 各学校行事を予定どおりに実施できた。令和4年度は中学3年生が新型コロナウイルスの影響で海外語学研修を実施できなかったため、その代替として12月に高校1年一貫生がオーストラリアで海外語学研修を実施した。また、次年度の研修について研修地の変更なども含め業者選定を行った。 【各行事をコロナ前とほぼ同じ形態で実施できたが、より充実した内容を目指す必要がある。】
		④ 各種模擬テスト・各種検定・志望校調査を効果的に実施する。	模擬試験の生徒へのフィードバック状況	④ 各種模擬テスト・各種検定・志望校調査を効果的に実施しました。模試の結果を学年・教科ごとに分析し、課題点を見つけ、次の模試に向けて対策を考えるなど、生徒へフィードバックを行った。 【学年・教科担当と進路指導部との連携を図り効果的な実施ができた。今後も模試の結果を生徒へフィードバックすることが重要である。】
		⑤ 中学1年生対象の「ネイティブ講師による英会話」の授業、中学2年生～高校2年生対象の「オンライン英会話」の授業をさらに充実させ、英語4技能の向上に努める。	英語4技能の成績向上	⑤ ネイティブ講師による英会話授業、1対1のオンライン英会話により、英語に対する学習意欲が高まり英語4技能も向上した。そのため、オンライン英会話の1回あたりの時間を30分から40分に増やし充実を図った。 【4技能を通常の授業で更に充実を図り成績向上に繋げることが課題である。】
		⑥ ICT機器の活用による情報活用能力を育	ICT機器の活用状況	⑥ オンライン英会話、理科実験演習、

	<p>(2) 配慮を要する生徒への支援体制の強化に取り組む。</p> <p>(3) 教員の指導力の向上に取り組む。</p> <p>(4) Ⅲ類クラブの全国レベルでの活躍をバックアップする体制を整える。また、その活躍を継続させるためにも、指導者の後継者育成を進める。</p>	<p>成し、効率的な学習を実践する。（オンライン授業への対応）</p> <p>不登校・いじめ・発達障害・家庭環境などの問題を抱えた生徒が、安心して登校し授業が受けられるよう保健室・教育相談・人権教育推進部・生徒指導部・学年・担任・保護者が協力し支援できる体制の強化に取り組む。</p> <p>① 教員向け外部研究会・研修会（教科指導・進学指導・生徒指導・ICT教育など）へ積極的に参加し、教員としての資質を高める。</p> <p>② 授業力の向上に向けて研究授業の機会を増やす。</p> <p>③ 授業アンケート・自己評価アンケートの有効活用を図る。</p> <p>④ 「学校関係者評価委員会」を開催し、客観的な評価を受ける。</p> <p>① Ⅲ類クラブの全国大会出場、全国優勝など、高いレベルを目指すために練習環境を整備する。</p> <p>② Ⅲ類クラブの指導者の後継者育成を進める。内部での育成を進めながら、必要であれば外部からの招聘も検討する。</p>	<p>生徒が抱える問題への早期対応</p> <p>研修への参加状況</p> <p>研究授業の実施</p> <p>授業評価アンケートの実施 学校関係者評価委員会の開催</p> <p>練習設備の整備進捗状況</p> <p>クラブ指導者の要員充足状況</p>	<p>社会の授業を中心にタブレットを積極的に活用している。ICTによる教育実践例を蓄積していき、効果を検証しながらより一層の活用を推進している。</p> <p>【ICTによる教育実践例を蓄積し、効果を検証しながら更なるICT機器の活用を推進することが重要である。】</p> <p>生徒が抱える様々な問題について担任等の個人が対応するのではなく、学年・分掌で情報を共有するとともに、教育相談（カウンセリング）の利用を勧めたり、「いじめ対策委員会」を開催するなど組織的に対応するようにした。</p> <p>【個々の教員が問題を抱え込むことなく、教員同士が相談しやすい組織で解決する更なる環境づくりを目指す。】</p> <p>①人権研修、入試研究会へ参加したり、研修会・講演会を学内で開催したりするなど、教員としての資質の向上を図った。</p> <p>【学内で実施する研修を充実するとともに参加率を上げることも必要である。】</p> <p>②各教員が自発的に授業見学をし、授業力向上に努めました。また、入試説明会の際などに保護者に授業を公開し、授業力の向上に役立てた。</p> <p>【各教員による指導力向上に向けた積極的な取組が多くみられた。新任教員に対しては研究授業を実施し、授業力の向上を図ることも必要である。】</p> <p>③ ④ 3月に実施した授業アンケート・自己評価アンケートについて、学校関係者評価委員会（桐友会、同窓会、評議員）から評価に関する意見をいただいた。</p> <p>【「学校関係者評価委員会」は、感染症対策で開催を見送っているが、今後は開催を再開することも検討する。】</p> <p>① クラブ関係者にヒアリングを行い、コンサルタントと相談ながら財務部と連携し、生駒グラウンドの整備を進めています。なお、生駒第8グラウンドについては令和6年度中に人工芝敷設工事を行うこととなった。</p> <p>【一部の生駒グラウンドの整備が進み出したことの意義は大きい。今後はクラブの要望を聞きながら、寮を含む施設の改善を図る。】</p> <p>② 将来の指導体制を見据え、若手指導者の採用および配置変えを進めた。また、本校卒業生のみならず外部からも招聘をするなどして、クラブ強化に努めている。</p>
--	--	---	--	--

<p>(5) 生徒のマナーの向上と挨拶の励行を促す。</p>	<p>①朝礼（全校、本館・東館、学年）・登下校指導を実施し、マナーの向上や挨拶の励行を促す。朝礼やHRでは、外部の方の本校生徒に対する評価（アンケートやメールや電話による具体的なもの）を伝え、訴える。また、生徒会・運動部を牽引役として挨拶の励行を促すとともに、教員からも積極的に声掛けをする。中学生による挨拶運動を学校全体に広げていきたい。</p> <p>② 外部講師を招いて実施しているSNSや薬物に関する講演を充実させる。</p> <p>③ 新入生オリエンテーションを実施し、校則の遵守を徹底するとともにマナーの向上や挨拶の励行を促す。 特にSNSについては、具体例を挙げながら注意を促す。</p>	<p>生徒の挨拶状況 生徒のマナー向上</p> <p>講演会の実施状況</p> <p>校則の遵守状況 生徒のマナー向上</p>	<p>【クラブ指導者の後継者育成のために若手指導者の採用は不可欠であり、今後も長期的視点に立って採用を検討する。】</p> <p>①中学では当番を決め、登校時に生徒が入口付近に立って挨拶をする取り組みを行った。また、ホームルームや集会においては引き続き、マナーの向上や挨拶の励行を呼び掛け、本校生徒に対する好意的な意見をいただいた場合は、集会などで生徒に伝えた。また通学マナー向上のため、生徒指導部が通学路に立ってマナー指導を行った。 【挨拶運動の取り組みは大変有意義であり、引き続き教員からの声掛けも行いながら、挨拶の励行を進めるとともに、生徒のマナー向上を目指す。】</p> <p>②中学、高校新入生を対象に、「中高生が理解しておくべきスマホやネットに潜む危険について」の動画によるSNS講演会を実施するとともに、自転車安全運転講習を実施し、自転車による事故防止を目指した。また、中学生対象に四条曙警察に来ていただき、防犯に関する講義を実施した。 【毎年新入生に対して講演会を実施するとともに、日頃より指導を行うことで生徒の意識向上を図る。】</p> <p>③入学式翌日に新入生オリエンテーションを実施した。校長・生徒指導部・教務部・学年から懲戒内規・教務内規について話をし、校則・マナーの遵守についても話をした。SNSについては新入生対象に講演会を実施し、注意を促した。 【新入生オリエンテーションはコースごとに実施でき、校長・生徒指導部・教務部・学年より懲戒内規・教務内規について説明を行い、校則・マナーの遵守についても話ができた。】</p>
<p>(6) 学校行事の実施時期、内容の検証をし、充実を図る。</p>	<p>学校行事は、情操教育を進め帰属意識を高めることにおいても非常に効果的である。すべての学校行事について実施時期・内容を検証し、充実を図る。</p>	<p>生徒の満足度向上 学校行事の実施状況</p>	<p>学習合宿や修学旅行等の各学校行事を予定どおりに実施できた。また、高校2年エクシードクラスが独自に学習合宿を行った。なお、昨年度中学3年生が海外語学研修を実施できなかったため、代替措置として12月に高校1年一貫生を対象にオーストラリアで海外語学研修を実施した。また、次年度の研修について研修地の変更なども含め業者選定を行った。 【今後も各行事を検証し、必要に応じて内容を変えることを検討する。】 【行事を予定どおり実施できたことは、学校生活を充実したものにすると非常に意義が大きく、今後も安全に十分注意</p>

				を払いながら、全行事を充実した内容で実施する。】
2 大阪産業大学および附属高校との連携	<p>(1) 大阪産業大学とのスポーツクラブの交流を図る。</p> <p>(2) 「特別推薦入試制度」を充実させ、大阪産業大学との進学に関わる連携を強化する。</p> <p>(3) 大阪産業大学の入学試験の検証に関わる。</p> <p>(4) 定期戦の実施も視野に入れ、附属高校とのスポーツクラブの交流を図る。</p>	<p>(1) 大阪産業大学とのスポーツクラブの合同練習や施設の共同利用を通じて情報交換・指導力の向上・技術力の向上を目指す。また、クラブ交流を通じてⅢ類生の大阪産業大学への進学に繋げる。</p> <p>(2) 大学入試センターとの協議を重ね、両者間の「取り決め事項」を必要に応じて改定し、「特別推薦入試制度」の充実を図り、進学者の確保に努める。</p> <p>(3) 高大連携事業の一環として、大阪産業大学入試問題の解答・コメントを行う。大学入試センターと協議をし、より確実なものにする。</p> <p>(4) 附属高校とスポーツクラブとの合同練習や施設の共同利用を通じて、情報交換・指導力の向上・技術力の向上を目指す。</p>	<p>クラブ間の合同練習等の実施</p> <p>特別推薦入試制度による進学実績</p> <p>入学試験の検証の実施</p> <p>クラブ間の合同練習等の実施</p>	<p>(1) 男女バスケットボール部および男子サッカー部が、大阪産業大学のクラブとの間で練習見学、練習試合、情報交換などを行い、指導力や技術力の向上に繋がった。また、当該クラブの生徒が大阪産業大学へ進学した。 【クラブ間の連携が強まりスポーツ推薦で大阪産業大学へ進学実績があり、大学のクラブ強化に貢献できている。今後は一部のクラブに留まらず交流を拡げたい。】</p> <p>(2) 大学の入試センターと連携を取りながら「特別推薦入試制度」の活用について検討を行い、Ⅲ類生の進学に結びつけることができた。 【Ⅲ類生が特別推薦入試制度により大阪産業大学へ進学する実績があり、今後もこの制度を活用して大学との連携を深めたい。】</p> <p>(3) 大学の「公募推薦入試」「一般入試」において入試問題の解答作成を本校教員が行い、入試問題の点検に協力してきたが、今年度より大学の点検制度が変更になり実施しないことになった。 【あらためて大学側から協力の要請があった場合は、できる限り協力したい。】</p> <p>(4) 附属高校との間で、バスケットボール部、硬式野球部などクラブ交流の機会を持つことができた。 【一部のクラブではあるが練習試合も行うことができた。今後は定期戦の開催なども検討したい。】</p>
3 地域との連携	<p>(1) 地元(大東市・四条畷市)から応援される学校を目指し、地元地域のイベントへの生徒の積極的な参加を促す。</p> <p>(2) 組織のレベルで地元地域との連携を図り、地元地域に貢献する一方で、地元地域からの積極的な教育支援を受けられることのできる開かれた学校を目指す。</p>	<p>(1) 生徒会・クラブを中心として、地元地域のイベントに積極的に参加し、つながりを強める。(文化部の各種イベントへの参加、生徒会による清掃活動、その他大東市役所や四条畷警察からの協力依頼案件など)</p> <p>(2) 大東市、四条畷警察署などとの連携を深め、地元自治体の活動・取り組みなどに協力する。</p>	<p>地元地域のイベントへの参加</p> <p>地元自治体への協力</p>	<p>(1) 理科研究部が地域の小学生を対象に理科実験教室を開催した。また、地域自治会が主催するイベントへの協賛をしたり、入学試験などの多くの来校者があるときには四条畷警察署と連携して地域の巡回を行った。</p> <p>(2) 大東市民会館で行われた高校生英語弁論大会に本校生徒が参加した。吹奏楽部が地元小中学校からの依頼により演奏会を行った。 【新型コロナの影響があって参加するイベントが少なくなったが、生徒にとっても貴重な経験を積むことができた。これからも地元からの要望には積極的に応えていくことが良好な関係を築いていきたい。】</p>

	<p>(3) 災害等の非常時に地域への支援・協力を実行できる体制を構築する。</p>	<p>(3) 災害時避難所に指定されていることを踏まえ、公立小中学校で避難者を収容しきれなくなった場合を想定して、緊急時の受け入れ体制について検討する。</p>	<p>検討の有無と結果</p>	<p>(3) 年度中内に緊急時の受け入れ体制の検討はできず、次年度に継続して検討することになった。 【どのような場合に、どの程度の期間避難者を受け入れるのかなど、基本的なことを大東市などと調整し、今後の受け入れ体制を検討する必要がある。】</p>
4 キャンパス整備	<p>(1) 東館の撤退と本館集約に向けて「キャンパス整備計画」を策定する。</p>	<p>(1) 本校では、本館と東館にキャンパスが分かれていることにより、様々な点で教育活動に支障をきたしている。将来的にはキャンパスを本館に集約したいと考えるため、「キャンパス整備計画」の策定を進める。</p>	<p>整備計画の策定状況</p>	<p>(1) 本校隣接地の購入または購入予定地への校舎、寮の建設を含めた活用方法について検討したが、具体的なキャンパス整備計画の策定には至らず、次年度に継続して検討することとした。 【学園全体の整備計画の中で検討しないといけないため、法人と検討を重ねながら整備を進めたい。】</p>
	<p>(2) スポーツクラブの練習場を整備し、校外グラウンドを確保する。</p>	<p>(2) クラブの練習場を含めた施設・設備の改修・増設を進める。ラグビー部が使用している生駒第8グラウンドについては、法人の後押しにより整備が進んだため、これを機に更なる整備を図る。野球部のグラウンドについては、改修の認可申請をする一方で、代替地を探すことも継続する。また、古くなったクラブバス・トラックを順次買い替える。</p>	<p>必要な改修工事の実施</p>	<p>(2) ラグビー部グラウンド（生駒第8グラウンド）について財務部と調整を行い、土砂流出の防止工事、夜間照明の増設、人工芝の敷設工事の入札を実施し、令和6年度に工事を実施することとなった。また、野球部のグラウンドも拡張できないか調査を行い、次年度に継続して検討することとなった。 【一部のグラウンドではあるが整備に着手でき、今後の計画を検討したい。】</p>
	<p>(3) 校内グラウンドの拡張、寮の新設について検討を進める。</p>	<p>(3) 本館グラウンドを購入した隣接地まで拡張し、中高クラブ活動などで使用できるようにする。また、寮の新設についても検討する。</p>	<p>グラウンド活用方法及び寮新設の検討実施</p>	<p>(3) 昨年度購入した本館グラウンドの隣接地等について活用方法について検討したが、具体的な活用に至らず、次年度に継続して検討することとなった。また、寮の新設については、新たな土地購入に至らず、次年度に継続して土地購入と寮の新設を検討することとなった。 【新たな校地取得とその活用について、長期的視点に立って検討する必要がある。】</p>
	<p>(4) 老朽化に伴う建物の傷みの点検と修繕を行う。</p>	<p>(4) 校舎の外壁、屋上の防水、各教室のプロジェクター、生駒研修センターなど、古くなった施設・設備の点検を実施し、優先順位を決めた上で修繕・改修・更新を行う。</p>	<p>修繕・改修工事の実施</p>	<p>(4) 昨年実施した外壁調査結果に基づき東館の外壁補修工事を1月に行った。また、各教室のプロジェクター、オゾン発生装置も老朽化していたので、桐友会の支援のもと更新を行った。 【予定どおり補修工事等ができた。今後も予算取りをし、計画的に修繕・改修を行う予定である。】</p>
	<p>(5) ICT教育を進めるための環境を整備する。</p>	<p>(5) ICT教育を推進するにあたり、ネットワークのセキュリティ強化のため、法人のサポートのもと情報ネットワークを再構築する。各種サーバ・セキュリティ機器等の更新を行う。また、Microsoft365を中心とした教育インフラを整備するため、必要なハード・ソフトの導入を検討する。</p>	<p>情報ネットワーク機器の整備</p>	<p>(5) ICT教育を推進するにあたり、教育系と校務系のネットワークの分離、セキュリティの強化を目的に、法人管理課のサポートのもと情報ネットワークの再構築工事を行い、配線工事ののち、各種サーバやセキュリティ機器等の更新を行った。</p>

<p>(6) 法人のサポートのもと、全教員へのPCの貸与を検討する。</p> <p>(7) 電気機械・器具の最新化により、エコスクール化を進める。</p>	<p>(6) 全教員へのPC貸与を見据え、法人のサポートのもと情報セキュリティの管理体制を整える。</p> <p>(7) 電気機械・器具の最新化により、エコスクール化を進める。</p> <p>① 東館(普通教室以外)の空調設備の更新工事を行う。</p> <p>② 東館・本館の照明器具のLED化工事を行う。</p> <p>③ ネットワーク機器の更新を行う。</p> <p>④ サーバ機器の更新を行う。</p>	<p>セキュリティの管理体制の整備</p> <p>各機器の更新</p>	<p>(6) 法人サポートのもとネットワーク再構築工事を終え、令和6年度には全教員へのメールアドレス配布、インターネット接続を行う予定である。</p> <p>【令和5年度は校内ネットワークの再構築およびサーバ機器等の交換を行うことができ、今後は教職員へのセキュリティ意識の向上を図り、全教員へのPC配備に向けた予算化を行う。】</p> <p>(7)</p> <p>① 東館(普通教室以外)の空調設備の更新工事について、令和6年度予算に計上し、次年度に工事を実施予定である。</p> <p>② 夏休み期間を利用し、東館の残り箇所、本館全館のLED化工事を行い、光熱費の削減ができた。また、アリーナ及びシンフォニックホールは次年度以降に工事を行い、それにより全館LED化ができる見込みである。</p> <p>③ 校内ネットワーク再構築を行い、配線工事、サーバ等の機器更新を行った。</p> <p>④ ネットワーク配線工事を行った。令和6年度に継続してサーバ、ファイアウォールの更新を行い、安全性の高いネットワークが構築できる予定である。</p> <p>【令和5年度は全館LED化により光熱費の削減が図れた。今後はネットワーク機器の更新を検討し安定した情報教育が実施できる環境を目指す。】</p>
<p>5 卒業生および保護者との連携の強化</p> <p>(1) 桐友会、桐友会OB会、同窓会の3つの外郭団体との連携を強める。また、学校が団体間の連携を強めるための役割を果たす。</p> <p>(2) 各会からの支援について、より有効なものにする。</p> <p>(3) 必要に応じて、各会の規約を見直す。</p>	<p>(1) 各会の役員会や総会に教員が出席し、連携を強める。また、学校を仲立ちとして、桐友会、桐友会OB会、同窓会の横の連携を強める。</p> <p>(2) 各会の役員と連携し、教育活動への支援、教育環境の整備、クラブ活動への支援を依頼する。また、Ⅲ類クラブの全国大会出場時の支援、応援団派遣の支援についても協力をお願いする。</p> <p>(3) 各会の役員とともに、規約を見直し、必要な箇所については改訂を行う。</p>	<p>役員会や総会への教職員の出席役員との情報交換の実施</p> <p>支援の有効活用</p> <p>規約の見直し検討</p>	<p>(1) 桐友会、桐友会OB会、同窓会の3つの外郭団体との連携を強めるために、役員会や総会などに管理職が毎回出席し、情報共有・意見交換などを行った。</p> <p>【充実した意見交換ができ、本校の要望を事業に取り入れていただくことができた。】</p> <p>(2) 桐友会、同窓会、桐友会OB会より、本館グランド人工芝張替え、オゾン発生装置更新、トイレ臭気対策、プロジェクター更新、スクールバス買い替え、校用車購入、教育用印刷機購入、教育環境整備、クラブ全国大会出場に関わる支援などをいただいた。</p> <p>【学校予算ではすぐに対応できない事項について支援をいただき、学校運営が円滑にできた。今後も保護者目線での支援をお願いしていきたい。】</p> <p>(3) 管理職が役員会に出席し、規約の見直しなどの検討を行った。</p> <p>【学校の規程とのバランスを考慮しながら、規約などの見直しを検討することができた。】</p>

	<p>(4)保護者とのコミュニケーションのツールとして、HP やミマモルメを活用する。</p>	<p>(4) HPやミマモルメによる情報発信を活用し、情報がリアルタイムで保護者に伝わるようにする。</p>	<p>情報発信状況</p>	<p>(4) HR、ミマモルメによる情報発信のほか、Teamsを本格的に活用し、保護者との連絡ツールとして使った。 【欠席連絡やクラスの連絡などにTeamsを利用するようになり、円滑に連絡ができるようになった。さらに積極的に利用することにより、教員、保護者双方にとって利便性を高めることができた。】</p>
<p>6 大 阪 桐 蔭 ブ ラ ン ド 力 の 強 化</p>	<p>(1)学則定員、募集定員について、常に見直しを図る。</p> <p>(2)より効果的な広報活動の方法を探る。</p> <p>(3)広報・渉外部の充実を図る。</p> <p>(4)Ⅰ類・Ⅱ類の進学実績(特に国公立難関大学・国公立医学系大学への合格)を向上させ、在籍生徒・保護者の満足度を高めるとともに、受験生へのアピールを強める。</p> <p>(5)優秀な教員の確保に努める。</p>	<p>(1) 教員数・教室の数を考慮しながら、学則定員(中学校600名 高等学校2160名)を見直すとともに募集人数を確保する。</p> <p>(2) 校内外での説明会の生徒募集への効果を検証し、形態や時期や回数を含め、効果的な実施を検討する。また、Webサイト・学校案内の内容を新しい業者の下一新し、伝統を守りながらも新制服と絡めて新しいイメージを発信していく。</p> <p>(3) 教員と事務員が分担している広報・渉外の仕事を整理し、広報・渉外活動を充実するため、組織・体制のあり方を検討する。</p> <p>(4) Ⅰ類・Ⅱ類・Ⅲ類それぞれの特長を明確にし、Ⅰ類・Ⅱ類は進学実績、Ⅲ類はスポーツ・芸術実績を向上させる。その実績は本校の大きなアピールポイントであり、受験生に強く訴える。</p> <p>(5) 教員募集の方法・時期を効果的なものにし、優秀な教員を確保する。</p>	<p>募集人数の見直しの実施</p> <p>説明会の実施および参加状況 ホームページの見直し実施</p> <p>広報体制の見直し実施</p> <p>難関大学の合格者数 各クラブの全国大会等への出場</p> <p>要員の充足状況</p>	<p>(1) 高校において志願者が減少傾向にあるため、今後の動向を見ながら令和6年度に向け入学定員について検討した。 【少子化により入試環境が年々厳しくなることが予想されるため、組織改編を含めた広報戦略の見直しが必要である。】</p> <p>(2) 昨年度から時期・回数を変更した上で、校内説明会、個別相談会、体験授業を実施した。学外の説明会にも積極的に参加し、本校の魅力をアピールすることができた。また、今年度から学校案内およびホームページを刷新し、情報発信力を強めた。 【学校案内、ホームページのリニューアルに実施し、Webサイトからの情報発信力を強化することができた。】</p> <p>(3) 少子化を迎え広報・渉外活動の重要度が増してきているため、専属的に活動ができるよう校務分掌において入試広報・企画部を新設し、渉外活動の強化を行った。また管理職および担当者による中学校訪問を始めた。 【入試広報に専念できるような組織改編を検討したい。】</p> <p>(4) Ⅰ・Ⅱ類においては難関大学に多数合格できるよう、高い目標を持たせて進路指導をしており、国公立大学に213名が合格し、京都大学及び大阪大学の現役合格者数は大阪の私学の中でトップとなった。Ⅲ類においては硬式野球部が選抜大会ベスト8、ラグビー部が花園大会で第3位という結果を出し、吹奏楽部が全日本吹奏楽コンクールで金賞を受賞するなど各クラブが全国大会などに出場し、実績を残すことができた。 【エクシードクラス初めての卒業生を含む生徒達の努力により、難関国立大学や医学医学科に多数の生徒が合格した。Ⅲ類各クラブも練習に励み、全国大会などにおいて好成績を残すことができた。今後も高い目標を持たせ、モチベーションを引き出すことが重要である。】</p> <p>(5) 優秀な教員を確保するため早い時期より教員募集を行い、継続的に採用試</p>

	<p>(6)Ⅲ類クラブの全国レベルでの活躍をバックアップし、全国優勝を目指す。そのことで、在籍生徒・保護者の満足度を高めるとともに、知名度を高める。</p>	<p>(6) 法人や桐友会、桐友会 OB 会、同窓会の支援を得ながら、Ⅲ類クラブが活躍できるよう環境を整備し、その活躍によって本校の知名度を高めていく。</p>	<p>支援の有効活用</p>	<p>験を実施し教員の確保に努めた。教科によっては要員を充足できていないので、引き続き募集を行う。</p> <p>【今後は早期の募集と内定後の辞退も見込んだ上で、内定者数を決定することを検討する。】</p> <p>(6) 桐友会から各クラブに対して支援をいただき、クラブの活動費として使用している。また、今年度から全国大会出場時のクラブに対する費用支援もしていたことになる。高校野球応援費用（ポロシャツ、タオル、メガホンなど）も支援をいただいた。</p> <p>【Ⅲ類の活動経費を部費だけで賄うのは難しいため、桐友会からの支援はたいへん有益である。今後のクラブ支援についても検討していただきたい。】</p>
<p>7 コ ン プ ラ イ ア ン ス へ の 取 り 組 み</p>	<p>(1) 各種規定を整備・周知し、コンプライアンスの徹底を図る。</p> <p>(2) 「学校法人大阪産業大学情報管理基本規定」に基づき、法人のサポートのもと情報管理体制を構築する。</p> <p>(3) 人権教育、ハラスメント教育、体罰、いじめ等に関する研修を実施する。</p>	<p>(1) 諸制度の点検を常に行い、必要な場合は関係者の意見を聞きながら関連規程の改正を行う。規程を改正した場合は速やかに教職員へ説明し理解してもらう。</p> <p>(2) 管理課と検討を重ねながら、情報機器を更新し、情報セキュリティの強化を図るとともに、本校教職員による情報管理体制を構築する。</p> <p>(3) 人権教育推進部、生徒指導部の主導で各種講演や研修会を実施し、安心安全な教育環境を整備する。</p>	<p>規程の整備・見直し</p> <p>情報管理の強化</p> <p>道徳教育や講演会の実施</p>	<p>(1) 制度改正などがあった場合は、職員会議、ミマモルメ（メール）において要旨を説明し教職員へ周知しました。</p> <p>【規程等の周知は容易ではないため、今後も機会を見て規程・規則の説明をすることが重要である。】</p> <p>(2) 法人管理課の指導を受け、校内ネットワーク再構築の工事を行った。今後は情報セキュリティの運用ルールを作成し、管理体制を構築していく予定である。</p> <p>【今後は全教員に対してメールアドレスを配布とセキュリティの向上を目指して法人本部管理課と検討を進めたい。また物理的な面のみならず、システムエンジニアの常駐を含め、安全管理を徹底できる体制を作ることが重要である。】</p> <p>(3) 生徒指導部主導により、中1、高1対象にSNS等の危険性に関する講演会をオンラインで行った。また、教職員対象に大阪府警察本部による講演会「中学生・高校生が犯罪行為に巻き込まれないために教師が知っておくべきこと」および顧問弁護士による「体罰について」の研修会を行い、教職員の資質向上を図った。</p> <p>【研修は継続的に実施することにより効果が高まるので、同じテーマであっても視点を変えて研修を行うことも必要である。】</p>